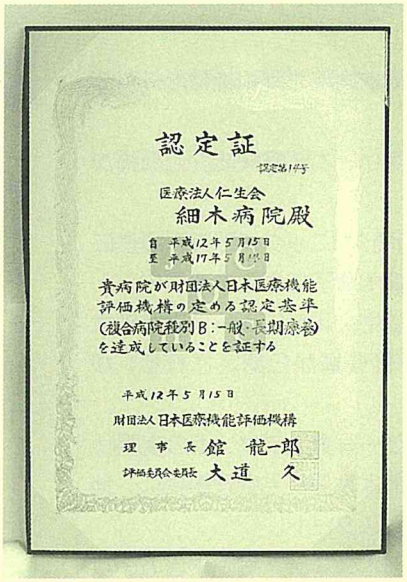
医療の質向上、躍進する仁生会

写真でつづる「じんせい」200号の歩み

情報紙「じんせい」が今月号で200号を迎えました。昭和62年1月の創刊から16年目で到達した節目の号になります。200号までの足どりを写真を中心にたどってみました（150号までは前回の特集号に掲載しましたので省略します）。

日高クリニックは、グループホーム「あったかホームかも」を開設した。（平成12年4月）



細木病院は、日本医療機能評価機構の第三者機能評価を受け、医療の質を評価され、認定された。その時の認定証。（平成12年5月）

細木病院は、高知の真夏の祭典「よさこい祭り」に初参加。60人でチームを編成し、ダイナミックな踊りを披露し、病院をアピールした。（平成13年8月）

細木ユニティ病院は、快適な療養環境の整備などを目指し、新館を完成させた。（平成13年6月）

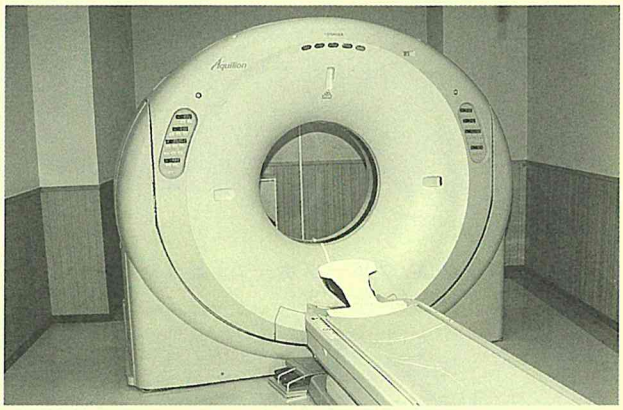
三愛病院は、病気が回復期に入った保育園児を預かり、治療・保育する病後児保育所「愛あいルーム」を開設した。（平成14年2月）

三愛病院は、療養環境の向上を図るため本館を完成させた。（平成13年9月）

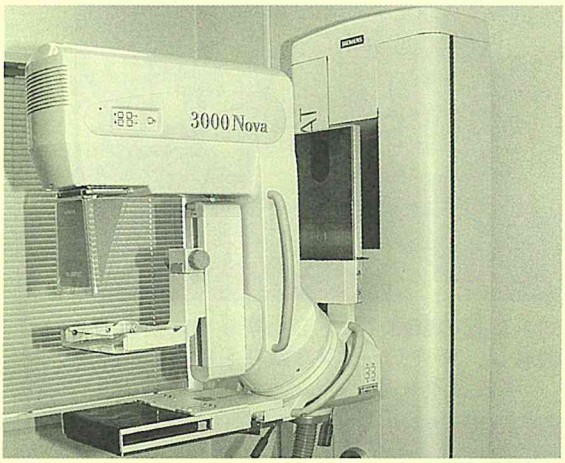
「じんせい」
151号(平成11年7月号)～200号までの足どり

◇平成11年8月＝題字・三愛病院中川治副院長に
◇11年11月＝題字・細木病院野口信総婦長に
◇11年12月＝11年の仁生会10大ニュースで、「細木病院がグループホームのびのび西町開設」がトップに
◇12年1月＝1面のカラー写真は高知市桂浜の朝日
◇12年2月＝題字・細木ユニティ病院山本英三事務部長に
◇12年5月＝題字は細木病院北岡和雄整形外科部長に
◇12年6月＝細木病院が日本医療機能評価機構から認定される
◇12年8月＝題字・日高クリニック矢野道恵婦長に
◇12年11月＝題字・細木膺子仁生会本部長に
◇12年12月＝12年の仁生会10大ニュースで、「細木病院が日本医療機能評価機構から認定される」がトップに
◇13年1月＝1面のカラー写真はプサン港の夜明け
◇13年2月＝題字は細木秀美仁生会理事長に。地域の病院・診療所紹介面スタート
◇13年5月＝題字・細木ユニティ病院本吉方子U2病棟婦長に
◇13年8月＝題字・久祥夫企画管理部長へ
◇13年11月＝題字・積善会高橋秀幸常務へ
◇13年12月＝13年の仁生会10大ニュースは「細木ユニティ病院の新館完成」がトップに
◇14年1月＝1面のカラー写真は長白山の天池
◇14年2月＝題字・三愛病院長尾紀子総婦長
◇14年4月＝医療法人仁生会が特定医療法人仁生会に
細木ユニティ病院が広報紙「ゆにてい」発行、本紙に差し込みへ
◇14年5月＝題字・細木病院渡辺恵美子副総婦長に
◇14年8月＝題字・細木病院岡村久美医事課長に
◇14年11月＝題字・細木病院北川隆夫内科部長に
◇14年12月＝14年の仁生会10大ニュースで、「仁生会が特定医療法人として出発」がトップに
◇15年1月＝1面のカラー写真はスイスのマッターホルン
◇15年2月＝題字・日高クリニック坂本義広事務長に
◇15年5月＝題字・細木ユニティ病院中村倭子看護長
◇15年8月＝「じんせい」200号に到達

細木病院と中国延辺大学医学院付属病院は、友好協力関係を構築していくことを確認した。(平成14年3月)



細木病院に、最新鋭のCTが導入された。新機種は、被検者の負担を軽減し、診断精度の向上に寄与するものとして期待されている。(平成14年9月)



細木病院は、マンモグラフィ(乳房エックス線写真)検診施設として高知県で初めて認定され、より精度の高い撮影と、乳がんによる死亡の減少などが期待されている。(平成15年4月)

仁生会はグループホームと、高齢者の生活を介助する施設・デイサービスセンターを、高知市万々に開設した。(平成15年6月)